

発掘調査総まくり

—平成 30 年度市域調査から—

埋蔵文化財課 事前審査係長 本田浩二郎

平成 30 年度の事前審査（表 1 参照）

景気の動向の影響を受け、審査件数は増加。窓口・FAX による照会件数が前年比で大きく増加。

平成 31 年 10 月の消費税増税の影響か、個人住宅等の小規模事業なども増加している。

近年の特徴として、相続に関連した埋蔵文化財調査費用の相談も増えている。

申請件数の増加に合わせて試掘・確認調査の件数も増加している。

平成 29 年度 254 件 → 今年度 340 件で 100 件程度の増加

表1 平成16～30年度事前審査件数推移（2019年3月11日現在）

事業	内訳	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
公共	事業照会審査件数	662	668	665	769	862	1,143	1,191	1,181	1,181	1,220	989	1,381	1,381	1,280	1,322
	申請審査件数	112	113	133	161	202	228	195	191	184	135	290	155	164	137	114
	審査件数計	774	781	798	930	1,064	1,371	1,386	1,372	1,365	1,355	1,279	1,536	1,545	1,417	1,436
民間	窓口照会件数	5,842	6,126	8,309	7,226	6,144	5,555	6,225	6,791	7,195	6,491	12,301	12,356	14,349	14,773	16,500
	FAX照会件数	1,499	2,296	3,354	3,990	3,537	3,729	4,584	5,716	7,170	7,999	8,648	9,317	9,936	9,904	10,000
	照会件数計	7,341	8,422	11,663	11,216	9,681	9,284	10,809	12,507	14,365	14,490	20,949	21,673	24,285	24,677	26,500
	申請（審査）件数	1,207	1,257	1,090	1,011	1,000	924	1,184	1,176	1,261	1,339	1,140	1,147	1,123	1,134	1,200
公・民	申請審査件数計	1,319	1,370	1,223	1,172	1,202	1,152	1,379	1,367	1,445	1,474	1,430	1,302	1,287	1,271	1,314
	公・民審査件数計	1,981	2,038	1,888	1,941	2,064	2,295	2,570	2,548	2,626	2,694	2,419	2,683	2,668	2,551	2,636

平成 30 年度の発掘調査

今年度の調査件数 42 件 + 昨年度からの継続件数 4 件

博多遺跡群 7 カ所 箱崎遺跡 8 カ所 那珂遺跡群 3 カ所 比恵遺跡群 3 カ所

山王遺跡 2 カ所 有田遺跡群 4 カ所 弥永原遺跡 2 カ所 田村遺跡 2 カ所 等

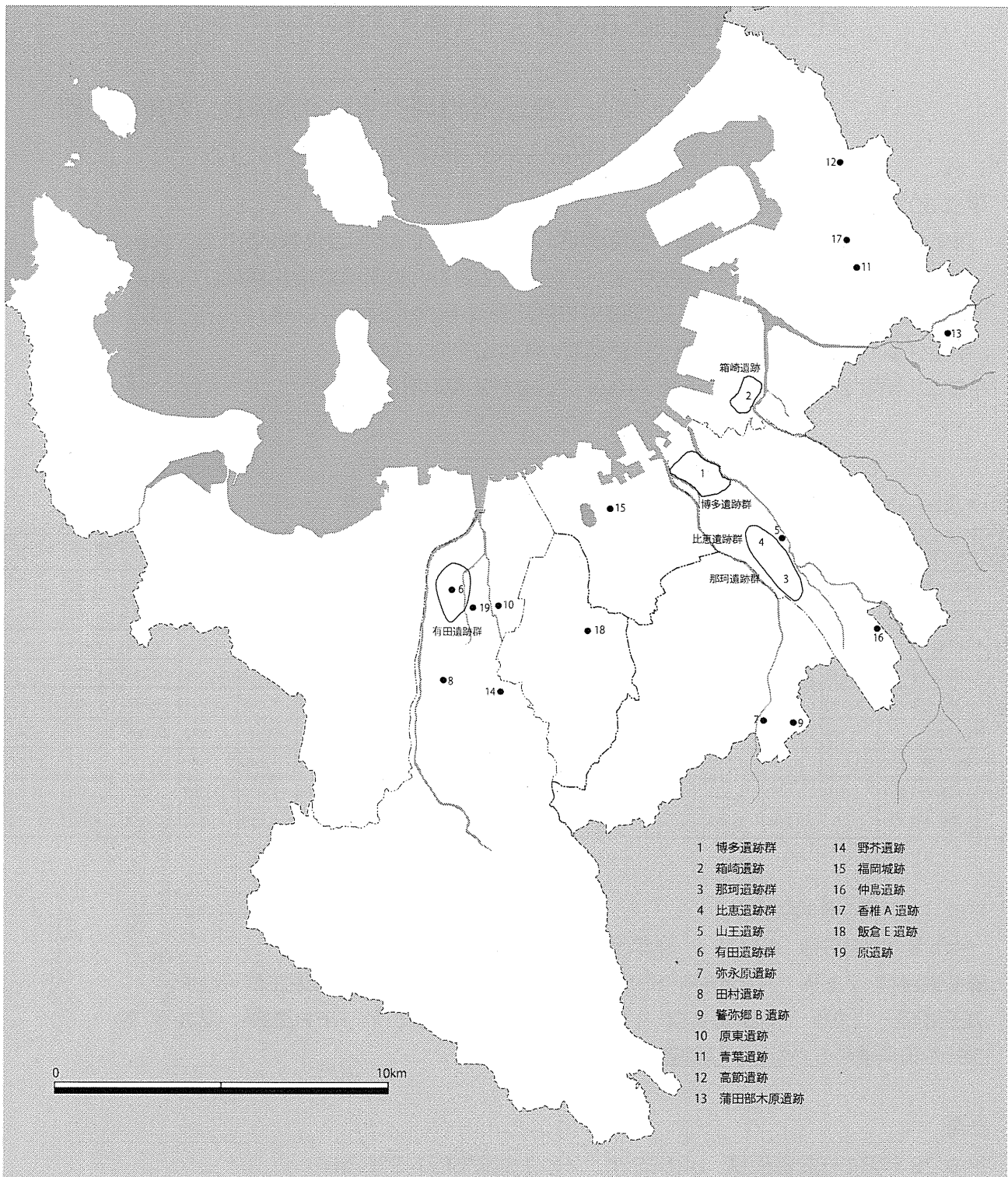
このうち箱崎遺跡 5 カ所は学術調査

参考

平成 28 年度の総調査面積 14,535 m² → 1 調査あたり 338 m²

平成 29 年度の総調査面積 11,615 m² → 1 調査あたり 363 m²

今年度は調査継続中の現場が多いため面積計算中。



平成30年度 発掘調査現場位置図

今年度は西区での発掘調査が1件もなかった。調査は博多遺跡群・箱崎遺跡等に集中しているが、箱崎遺跡内での発掘調査8件のうち5件が九州大学埋蔵文化財調査室による学術調査となっている。

博多遺跡群内での調査は平成29年度8件、30年度も8件と高い水準で推移している。31年度も引き続き博多遺跡群・箱崎遺跡で調査が数件予定されている。



2007(平成19)年3月 博多遺跡群上空 博多駅の建て替え工事中



2019(平成31)年3月 博多遺跡群上空 奥手に箱崎遺跡がみえる

